レジメン名称(sVCD(ボルテゾミブ+エンドキサン+デキサメタゾン)q5w) 多発性骨髄腫

ID		患者氏名 様			(性	三別)	
身長	cm	体重	kg	年齢	歳	<u>体表面積</u>	I	m^2
HR。 お盾(+	—)	HBc お盾 (+	—)	HCV お休	(+	_)		

薬剤	投与量	投与日				1 コース 5 週間
梁		Day 1···	8	•••15••••	•••22 ••	$\cdots 29 \cdots 36$
ボルテゾミブ(皮下	1.3 mg/m ²	\	\downarrow	\downarrow	\downarrow	
注)						
エンドキサン(内服)	300 mg/m ²		\downarrow	\downarrow	\downarrow	
レナデックス(内服)	40 mg/body	\downarrow	\downarrow	\downarrow	\downarrow	

レジメンオーダ以外に必要な処方

エンドキサン(50) 300 mg/m² 1×朝食後 day1、8、15、22

レナデックス(4) 10 錠 1×朝食後 day1、8、15、22

必要時アシクロビル、フェブリク (下記)

注意事項

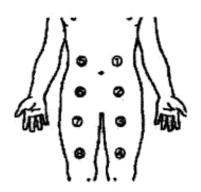
ボルテゾミブは調製後8時間以内に使用すること。

ボルテゾミブは1回投与量1.3mg/m²を生食で濃度が2.5mg/mLとなるように溶解し、皮下注射する。毎回同じ部位に皮下注射することがないように、注射部位をローテートする(皮下脂肪組識の萎縮や硬結をきたして、薬液の吸収が悪くなることがある。また皮膚の炎症などを起こす可能性が高くなる。)

高齢者や感染症を合併する危険性が高いと考えられる患者では、初回投与量を 1 レベル減量 (エンドキサンは 200mg/m²、デキサメタゾンは 20mg) できる。 エンドキサンの服用量は体表面積により算出し、50mg 単位で切り捨てる。

帯状疱疹:アシクロビル予防投与をすることがある(例:200-400mg/日)。

腫瘍崩壊症候群:フェブリクなどを予防投与することがある。



投与	5方法:1、8、15、22 日目
1	ボルテゾミブmg , 皮下注
	皮下注の場合: $1V$ ($3mg$)あたり生食 $1.2mL$ で溶解し、適量を使用

出水総合医療センター レジメン管理委員会